# 第 I 編 基準編 — 景観形成基準解説書

第1章 基本的な事項について		第3章 工作物に関する	
まちの中での建築物の役割	1	景観形成の基準	
建築物等の計画の視点	2	テーマ 1. 共通事項	29
解説書の使い方	2	テーマ2.擁壁・法面	30
	3	テーマ3.高架道路・高架鉄道等	32
		テーマ4.橋梁等	34
第2章 建築物に関する 景観形成の基準		テーマ 5. 煙突等	36
テーマ1. 敷地・配置	4	テーマ6.立体駐車場	38
<u>デーマ2. 形態(1)</u>	<del></del>	テーマ7.太陽光発電施設	40
テーマ2. 形態 (2)	7	第4章 色彩に関する基準	
テーマ3.意匠	9	テーマ1. 色彩(1)	41
テーマ4. 素材・材料(1)	11	テーマ1. 色彩(2)	42
テーマ4. 素材・材料(2)	13		
テーマ5. 屋根・建築上部	14	第5章 その他行為に関する 景観形成の基準	
テーマ6.屋外階段・バルコニー等	16	1. 土石の採取又は鉱物の掘採	
テーマフ、付帯設備	18	に関する景観形成の基準 	43
テーマ8. 外構(1)	20	2. 開発行為・土地の形質の変更	44
テーマ8. 外構(2)	22	3. 屋外における土石、廃棄物、 再生資源その他の物件の堆積	45
テーマ8. 外構(3)	24	一円生員源での他の物件の堆積	<del>4</del> 5
テーマ8. 外構(4)	25		
テーマ8. 外構(5)	27		
テーマ の	28		

### 第1章 基本的な事項について

### まちの中での建築物の役割

### まちは市民の共同作品

美しいまちの景観は、人々の地域を愛する細やかな気配りによって形作られる「共同作品」です。 それぞれに個性を持ちながら、周辺環境ともよく調和した建築物等で構成されるまちなみは、人々 の心を豊かにしてくれます。

### 建築物等の景観への影響

大規模な建築物、工作物等などはよく目立つので、周辺環境との調和に対する配慮がとくに必要です。また、大きなスケールを持つものは、ともすれば圧迫感や単調さなどの原因となりやすく、 規模が大きければ大きいほど、人々の心理に与える影響への心づかいが大切です。

### 地域の顔・シンボルとして

よく目立つ大規模な建築物等のデザインがそれ自体として優れており、しかも周囲のまちなみとよく調和していれば、地域のシンボルとなり、まちなみ全体の魅力の向上に役立ちます。

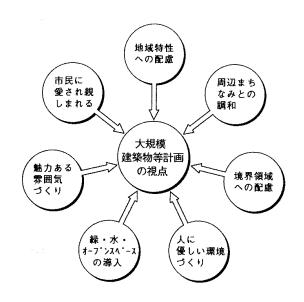
### まちづくりの先導役として

スケールの大きな建築物等は、景観向上のための工夫の可能性も大きく、規模にふさわしい適切な対応がされるなら、地域のすぐれた景観形成に大きく寄与できます。規模の大きな敷地なら、緑化や公開空地の創出などにより、まちなみにアメニティスポットを創り出すことも容易です。個性的でありながら周囲のまちなみともよく調和する大規模な建築物等は、優れたまちづくりの先導役を果たします。

### 建築物等の計画の視点

建築物、工作物、土地の形質の変更等を計画する際には、次のような視点でデザインを工夫する ことが大切です。

### ■建築物等計画の視点



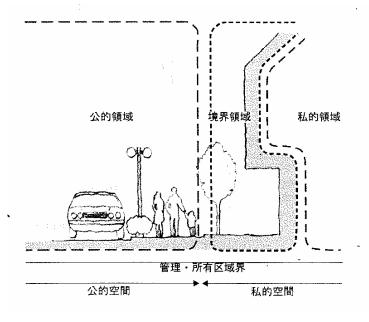
### 解説書の使い方

景観に配慮した建築物等を計画する際の指針として景観法に基づいて「四日市市景観計画」を定めています。

本解説書は、建築物等景観誘導基準をイラストや写真などを用いて、わかりやすく説明することにより、建築物等の計画・設計や届出・建築確認のみにとどまらず、市民の皆さんが普段から新築、増・改築に向けてイメージをふくらませるなど、様々な場面で気軽に活用できるようにいたしました。

### ■解説書の対象領域

建物の外壁や屋根、あるいは前庭といった施設の敷ぎわの部分は、境界領域と呼ばれています。境界領域は、市民の目にふれる場所であるため、私的空間であっても、市景観にとって非常に重要なところです。したがって本解説書は、主に、この境界領域を、市民共有の財産として豊かなものに、していくことを目指しています。

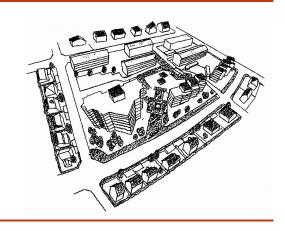


### 景観特性別の方針

地域の土地利用等の性格に基づき、景観特性を「住宅景観」、「自然景観」、「中心商業・業務景観」、「大規模工業景観」の4つの類型に区分し、類型ごとに目指すべき景観形成の基本方針を示します。

### ① 住宅景観 ⇒一般住宅系・一般商店街系・団地系・住工共存系

建物の高さやオープンスペースの確保、色彩、植 裁等に配慮し、周囲のまちなみと調和させるよう、 景観協定、地区計画制度の利用など、市民の皆さん が参画する景観形成に努めます。



### ② 自然景観 ⇒自然保全系·集落居住系

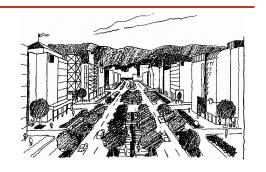
農地や丘陵地、水辺等の良好な環境を保全し、みどりあふれる景観を形成するため、市民の皆さんの活動を支援します。

既存集落の建物等の規模に配慮し、周辺部の田園 風景との調和に努めるとともに、地域の樹木や里山 を市民の皆さんと協働して保全するよう努めます。



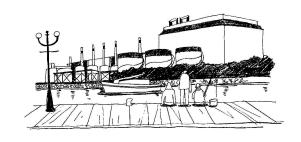
### ③ 中心商業・業務景観 ⇒市中心部の店舗・業務ビル、マンションの立地する区域

魅力と賑わいのあるまちなみの形成や、広場・公開空地の拡大、街路樹等の維持管理に努めます。とくに建物低層部の利用形態、壁面後退、デザインの工夫などにより、魅力ある歩行者空間の創出に努めます。



### ④ 大規模工業景観

コンビナートや大規模工場などの建築物・工作物のデザインなどを工夫し、周囲に与える圧迫感や単調さを軽減するよう努めるとともに、植栽などによる敷地内及び境界部の緑化誘導に努めます。



#### 建築物に関する景観形成の基準

### 第2章 建築物に関する景観形成の基準

建築物は、周囲の良好な市街地環境や自然景観などと調和したものとなるよう、次に定める景観 形成の基準に適合する必要があります。



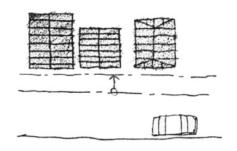
# 敷地·配置

周囲の建物・街並みに圧迫感や違和感を与えないように、道路と建物、また建築間の距離を十分に保つなどの配慮が必要となります。

- ●まちなみの連続性に配慮した建物の配置とする。
- ●周囲の良好な景観の保全に配慮した建物の配置とする。
- ●道路との境界線からできる限り後退させた配置とする。

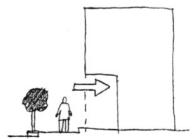
### 修景方法

街並みの連続性 の確保

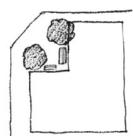


建物を道路境界線からセット バック(後退)し、壁面線を 揃えます。

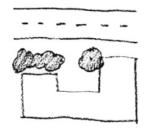
ゆとりの空間を つくる



建物の1階部分を後退させ、セミパブリックな空間を作ります。

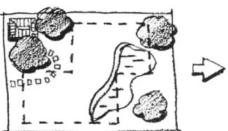


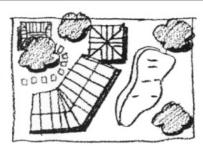
- 交差点に立地する場合 は角にポケットパーク を設けます。



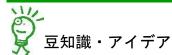
中庭など人々を引き込む溜まり空間を作ります。

自然・歴史資源 を活かす





敷地内の樹木や祠などの保全 に努めます。



### ゆとりの空間をつくる

- ●角地にポケットパークを設けた例。樹木が交差点のアイストップになっています。①(中部地区)
- ●前庭を取り囲むように建物を配置し、潤いのある空間を作り出しています。②(常磐地区)

### 自然・歴史資源を活かす

■工場敷地内の大木群の森を残し、ショッピングセンターとして再開発しています。③④(日永地区)









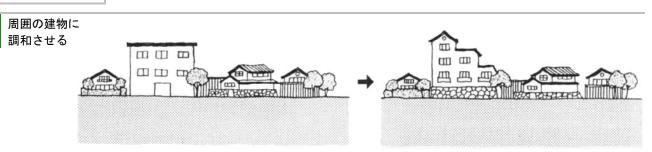


# 形態(1)

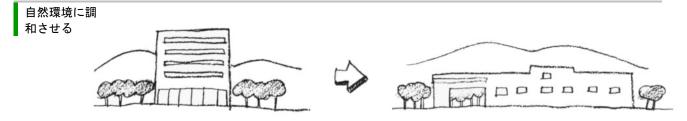
大規模な建物は単調で、長大な壁面になりがちです。そこで、周囲の街並みや自然環境の調和に 配慮した形態にすることが必要になります。

- ●建物の形態は、全体として違和感のないまとまりある形態とし、周囲の建物や景観と調和さ せる。
- ●高層又は長大な壁面となる場合には、壁面の分節化(素材や形態の分割)などにより、圧迫 感や威圧感を軽減する。
- ●優れた景観の眺望点となる場所の周辺では、その眺望を妨げない形態に努める。
- ●交差点やアイストップとなる場所では、まちのシンボル、ランドマークの演出に努める。
- ●海や河川などに面する場所では、水辺空間との一体感を持たせるようにする。

### 修景方法



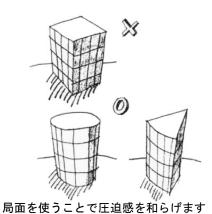
周囲の街並みと調和した形態の建物にします



背景となる遠くの山々のスカイラインを遮らな いようにします

# 圧迫感を和らげ

建物の上層部をセットバックさせたり、分節化 することで、ボリューム感を軽減します





# 形態(2)

### 修景方法

### ●優れた景観の眺望点となる場所



優れた眺望を阻害し、まわりの住宅に圧 迫感を与えています



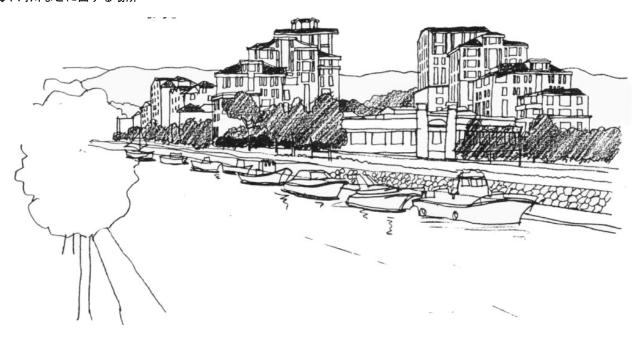
背景の山並みに屋根並みを調和させ、圧 迫感を和らげています

### ●交差点やアイストップとなる場所



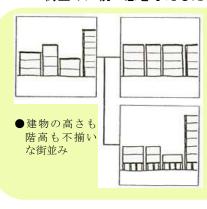
建物はシンメトリー(左右対称)であったり、尖 塔があると、シンボリックで、印象が残ります。

### ●海や河川などに面する場所





### 街並みに統一感を与えるための手法

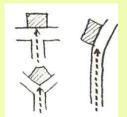


- ●建物の高さを 揃えます
- ●階高と一階部 分のファサー ドを揃えます

### アイストップになる場所

アイストップとは、都市の中で、目印となるものです。具体的には街角や行き止まり、曲がり角にある樹木や建築物等を指します。

このような場所では、 ゆとりある建物の配置と 共に、表情豊な形態、意 匠にし、シンボル性を高 めることも重要になりま す。



### 周囲の建物に調和させる

●建物を雁行させることで、表情豊かな建物になっています。①(常磐地区)

### 自然景観に調和させる

●既存の林を残し、周辺の木より工場の高さを低く抑え、 丘陵地からの良好な眺望を守っています。②(水沢地区)

### 圧迫感を和らげる

- ●壁面を分節化することで、圧迫感を和らげている例。③ (常磐地区)
- ●建物の壁面を徐々に後退させ、開口部の形等と工夫することで象徴的な建物になっています④(中部地区)
- ●単調になりがちな壁面にアクセントをつけ、表情豊かなシンボル性の高い建物にしています。⑤(中部地区)
- ●壁面をカーブさせることで、特徴ある建物になっています。⑥(中部地区)













4



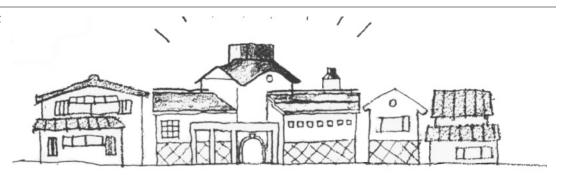
# 意匠

建物が立地する場所や地域の歴史などの文脈を読み、周辺の街並みとの調和やシンボル性を意識 した意匠としましょう。

- ●周辺景観やまちなみと調和し、また建物全体が調和した意匠とする。
- ●規模の大きな建物は、屋根、壁面、開口部等の意匠を工夫し、歩行者への威圧感や圧迫感を 軽減する。

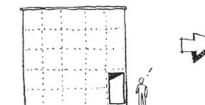
### 修景方法

周辺の街並みと の調和を図る

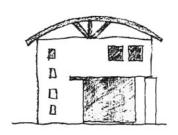


歴史的建造物群などに隣接するところでは、伝統的な意匠を継承し、周囲に調和する配慮が必要です。

圧迫感を和らげ る

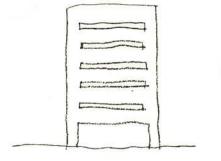




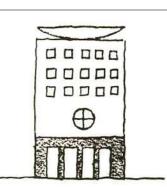


閉鎖的な建物でも低層部に大きな開口部を 作ることで、親しみが生まれます。

表情豊かな意匠 にする







屋上や壁面、開口部等の大きさ、位置、色 彩、形態などに工夫を施すことで、シンボ ル性の高い建物になります。



### 〈CADやCGによる意匠・形態のチェック〉

CADやCG等は、設計時における建築物の形態や意匠等の検討をするのに有効です。また、CGは、プレゼンテーションやプロジェクト関係者の合意形成にも役立てられます。

●横浜港ター ミナルコン ペ時の3次 元CG。 (FOA)



### 周囲の街並みとの調和を図る

- ●八風街道の古い町並みに合わせて、店舗の建て替えを 行った例。①(大矢知地区)
- ●既存の校舎とのデザイン的な統一感を持たせ、増築した体育館の例。②(塩浜地区)

### 圧迫感を和らげる

●所有者の異なる2棟のビルの意匠を揃え、統一感を創り出すとともに、塔屋の形を左右対称にすることでスカイラインに変化を与えています。③(中部地区)

### 表情豊かな意匠にする

- ●様々なデザインボキャブラリーを用いることで、華やかでシンボル性のある豊かな表情の建物になっています。④(中部地区)
- ▶トラディショナルなファサードが品格のある紳士服屋をイメージさせます。⑤(中部地区)













# 素材・材料(1)

建物の素材や材料は、地域に合ったものを活用するとともに、できるだけ、耐久性に優れ、維持 管理の容易なものとする必要があります。

- ●周囲の景観と調和し、また長期にわたって良好な景観が維持できる耐久性、耐候性、維持管理に優れた材料を使用する。
- ●道路から見える建物の側壁について、建物正面と調和させる。

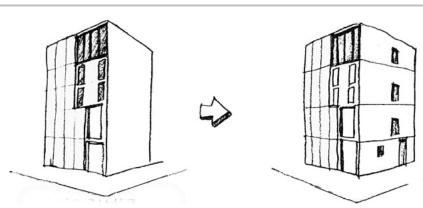
### 修景方法

地域性のある素 材を使う



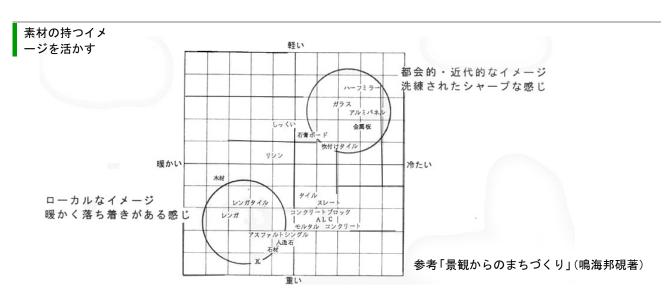
伝統的・個性的な街並みでは、地域性のある親しみの持てる材料を使います。

### 建物の側壁をデ ザインする



仕上げの違いが目立つ側面の壁面。

建物の正面と一体的な仕上げにします。





### 〈地場産品〉

萬古焼き、朝明石(白みかげ石)。

### 〈素材の組み合わせ〉

大規模な建物は、ガラス、鉄、コンクリート等の材料が大部分で、無機的な建物になりがちであり、 窓の格子やエントランスなどの部分的に木を使うことで、暖かみのあるものにできます。

### 地域性のある素材を使う

●伝統的なまつりである「鯨船神事」にちなみ、鯨の頭と尾、そして波を色の異なる御影石で表現しています。①(中部地区)

### 建物の側面をデザインする

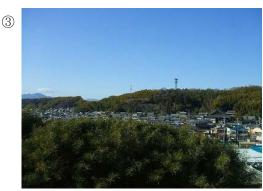
●壁面の一部に石垣模様の凹凸を付けることで、暖かみの感じられる柔らかい印象の建物になっています。② (中部地区)

### 素材の持つイメージを活かす

- ■風致地区の里山の麓に広がる四郷集落の町並み。瓦屋根の続く、高さを抑えた家並みが里山の緑と美しいコントラストを見せています。③(四郷地区)
- ●低層部に安定感のある自然石貼りの壁と、その上に暖かみのあるレンガタイルの壁面、鋼板の屋根が古典的な建築様式を彷彿とさせます。④(中部地区)











# 素材・材料(2)

# 修景方法

# 壁材のいろいろ

仕上材		特 性	留意点					
タイル レンガ	・ 手組上傷れ		・剥落、エフロレッセンスに注意を要する					
左官 材料	せん		・浮き、剥離、ひび割れに注意を要する ・一定期間ごとに塗りなおす必要がある ・素材感が損なわれないような配慮が必要である					
塗装	・下州を関わず徒田できる		・一定期間ごとに塗りなおす必要がある ・素材感が損なわれないような配慮が必要である					
金属		・長尺材として大規模な壁に使用可能 ・軽快にも重量にも表現できる	・錆び、化学反応に対処を要する ・定期的メンテナンス必要					
ガラス	・耐候性があり、清掃も簡易 ・軽快で緊張感があり、現代的表現に適している		・防火性、断熱性に劣る ・定期的な清掃が必要 ・反射するものに注意を要する					
セメント	・耐火性、経済性があり、軽量 ・単調になりやすく、高級感に欠ける		・長年月を経ると表面が脆弱化する ・取付部に割れ、欠けを生じる					
ALC板	ξ		・小さなピッチで目地ができる					
PC板		・耐火性がある ・単調になりやすい	<ul><li>・ひび割れが生じやすい</li><li>・一定のピッチで目地ができる</li></ul>					
コンクリート打 放し		・耐久性がある ・素材感、重量感がある	<ul><li>・汚れやすい</li><li>・ひび割れ、施工に注意を要する</li></ul>					
1147		・耐久性がある ・安価で建設が容易	<ul><li>・汚れやすく、漏水に注意を要する</li><li>・単調になりやすく、高級感に欠ける</li></ul>					
プラスチック系 ・耐久性、透光性がある		・耐久性、透光性がある	・耐火性がない					
*耐久性がある *親しみやすく、肌触りがよい			・耐火性がない					
石材・美観上、		・耐久性、耐火性がある ・美観上、高級感、重量感がある ・色、模様、仕上げの種類が豊富	・重量が重く、高価					

## 屋根材のいろいろ

仕上材	特 性	留意点
瓦	・耐久性、耐火性、補修性に優れている ・屋根材として伝統的に使われており存在感がある	・瓦のずれ、割れ、欠けに注意を要する
鉄板	・防火性、経済性がある ・小さな勾配屋根に適する	・錆びやすく、耐久性に欠ける
銅版	・耐久性があり、美観上高級感がある ・年月と共に変化し(緑青)、趣が出る	・高価である
その他の金属	・耐久性がある ・小さな勾配屋根に適する	
アスファルトシ ングル	・軽量である ・緩勾配(1/10)、曲面にも使用可能	・防火性に劣る ・重ね部分の接着性、周辺部の納まりに注意を要す る
合成樹脂系	・採光性、経済性があり、軽量 ・変形が容易	・耐久性、耐火性に劣る ・変退色する
ガラス	・耐候性、採光性に優れている	・壊れやすい ・コーキングの耐久性が問題となる

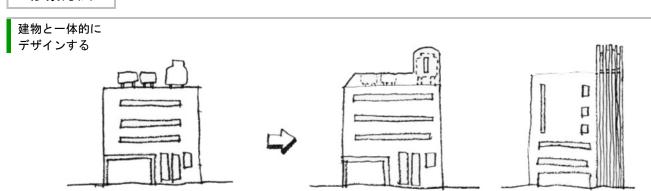


# 屋根·建築上部

建物の屋根は、デザインや高さがバラバラだと街並みとしてはまとまりがなくなります。そこで、 周辺の街並みとの調和やスカイラインの統一などに配慮することが必要です。

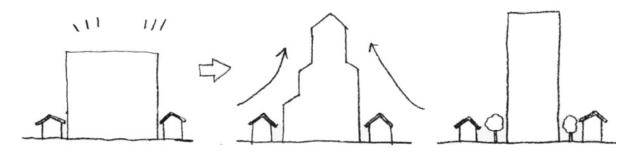
- ●屋根の形態は、調和のとれたスカイライン(建築物の輪郭線)やまちなみの形成に配慮する。
- ●屋上の工作物や塔屋(とうや)(屋上部の階段室、機械室)などは、建物本体と一体感のあるデザインとする。

### 修景方法



屋外広告物や塔屋は、色彩を施したり、ルーバー等で隠すなど建物 本体と一体的にデザインします。

### 調和の取れたスカ イラインの形成



スカイラインが途切れ、 圧迫感を感じます。

上層部をセットバックさせたり、隣地との 間に空地を設け、圧迫感を和らげます。



### 〈屋根形状のいろいろ〉

・陸屋根 ・切妻屋根 ・寄棟屋根 ・入母屋屋根 ・ボールト屋根











### 〈屋根庇の効用〉

庇は外壁を雨や直射日光から守り、建物の耐久性を高めると共に、デザイン面では外壁を引き締める役割があります。

### 建物と一体的にデザインする

- ■ボールト屋根の採用により、柔らかみのあるユニークな表情の建物になっています。①(小山田地区)
- ●落ち着いた色合いの切妻屋根の採用により、製茶工場にふさわしい和風な建物になっています。②(日永地区)

### 調和の取れたスカイラインの形成

- ●尖塔の乗った方形屋根がリズミカルです。③(富田地 区)
- ●陸屋根と勾配屋根の併用で、変化に富んだ表情を作り だしています。④(橋北地区)
- ●鈴鹿の山並みをモチーフにした勾配屋根の工場。⑤ (保々地区)

1

3









解説— 15



4

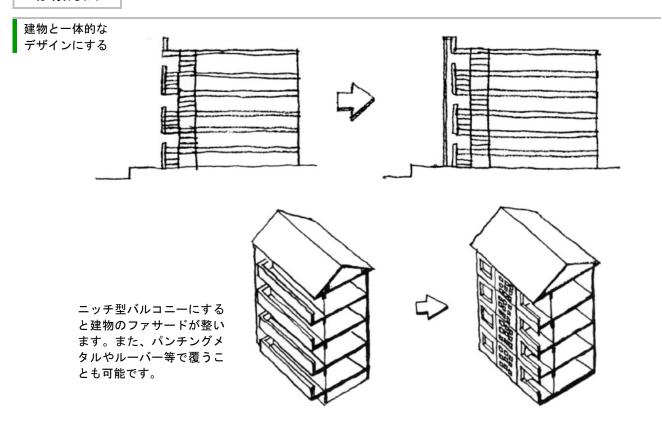


# 屋外階段・バルコニー等

屋外階段、バルコニー等は、建物本体との一体感を確保するよう、デザインや色彩等に配慮する 必要があります。

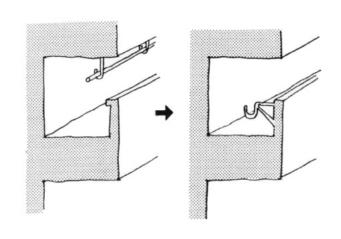
●屋外階段、バルコニー等は、建物本体との一体感や調和、道路等の公共空間からの眺望に考慮したデザインとする。

### 修景方法



バルコニーの修 繕

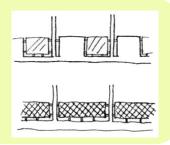
物干し金物の位置を工夫することで、洗濯物が道路から見えないようにします。





〈バルコニーのデザイン・素材〉

- ●型ガラスと腰壁の組み合わせによ るデザイン
- ●エキスパンドメタル・パンチング メタル・ルーバーなどのパネル化



### 建物と一体的なデザインする

- ●ガラスブロックによる表情豊かで開放的なバルコニー。① (常磐地区)
- ●アクセントカラーを細く入れることで、冷たく圧迫感を与えがちな建物の裏面を引き締まった軽快なデザインになっています。②(中部地区)
- ●帯と同じ色を屋外階段にも施し、アクセントを加える とともに、階段を雲形の屋根で覆い、冷たく単調にな りがちな大規模倉庫に暖かみを与えています。③(河 原田地区)

### バルコニーの修景

●デザインされたベランダと屋外階段の踊り場の腰壁。④ (内部地区)











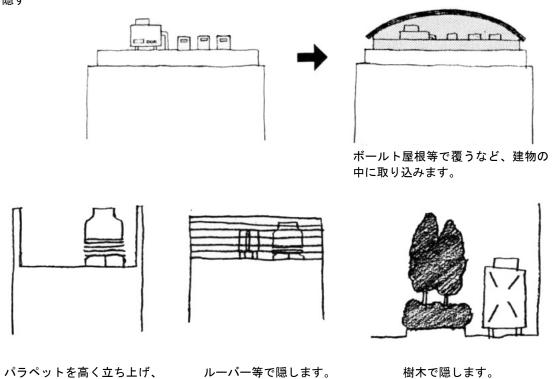
# 付帯設備

建物の外部に露出された設備は、人々に不快感を与えることがあります。そこで、あまり目につかないように屋根で覆ったり、配置などを考慮することが必要です。

●外壁面の設備配管や配線、屋上の設備機器等は、道路等の公共空間からなるべく見えないようにし、やむを得ない場合は、色彩を揃えるなど建物本体と調和させる。

### 修景方法

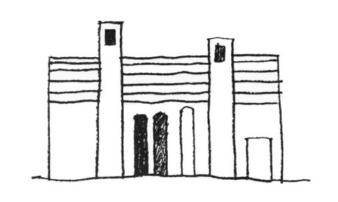
### 付帯設備を隠す



### 外壁との色彩の 調和を図る

色彩を施し、建物にアクセ ントを与えます。

屋上設備等を隠蔽します。



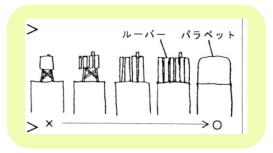


### 〈建物との一体化〉

スカイラインを整理する方向で屋上設備の目隠 しをデザインします。

### 〈ルーバーの色彩〉

建物と同色または同系色の薄い色を使うのが良いです。 ルーバーは高い所に設けられるため、濃い色合いのもの は空を背景にした場合、目立ち過ぎてしまいます。ベージ ュかグレー等の薄い色が無難です。



### 付帯設備を隠す

- ●直線と曲線、そして立方体を組み合わせたデザインにより、屋上設備をうまく隠しています。①(中部地区)
- ●寄せ棟屋根の中心に時計台を組み込んだ塔屋を備え付け、屋上設備を隠しています。時計台は近くの小中学校の方を向いており、周辺の人々から親しまれています。②(富洲原地区)

### 外壁との色彩の調和を図る

- ●建物や案内板と一体的にデザインされたゴミ置き場。 ③④(中部地区)
- ●調和した隣接する建物の塔屋。三角と円弧をリズミカルに配置しています。⑤ (中部地区)











4



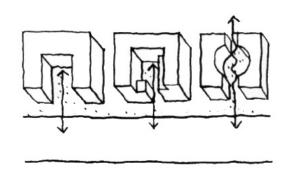
# 外構(1)

まちと建物の境界部分の緑化やオープンスペースの設置等の工夫により、街並みの連なりを確保 し、潤いのある歩行者空間を形成しましょう。

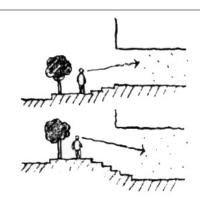
●生垣、柵、塀、門等を設ける場合は、沿道としての一体感や連続性、周囲の景観との調和に 配慮する。

### 修景方法

快適な歩行者空 間をつくる



歩道と一体的なコモンスペースを確保 します。



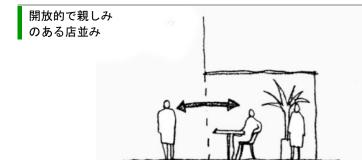
段差を設けることで、空間的にはしきられていますが、道路と敷地、建物内部との一体感を持たせることができます。



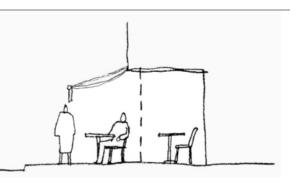




生け垣や柵などのやわらかい囲障などを 設け、連続性を確保します。



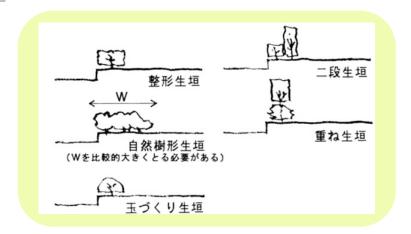
開口部を広くとり、建物の内部と 外の一体感を形成します。



テントなどを設け、半屋外空間を つくります。



〈生け垣のいろいろ〉



### 街並みの連続性の確保

●レンガによりデザインされた塀。① (富田地区)





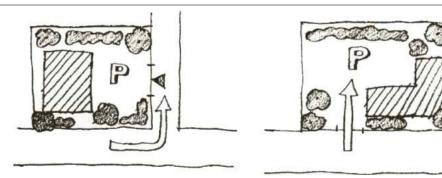
# 外構(2)

駐車場は、できるだけ出入口を限定するとともに、生け垣や塀などで道路から直接見えないようにする配慮が必要です。

●駐車場・駐輪場の出入口は、通りの連続性や人の動線との共存に配慮した配置とし、修景・ 緑化などにより周囲の景観と調和させる。

### 修景方法

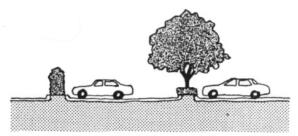
### 駐車場の配置を 工夫する

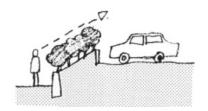


駐車場の出入口はできるだけ歩行者の 多い通りを避け、街並みの連続性を確 保します。

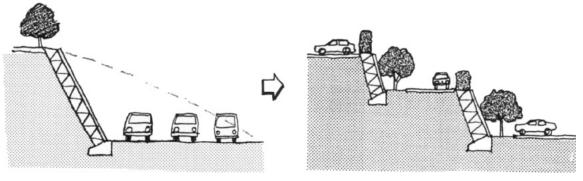
駐車場を工場の後ろに配置するなど して、通りから直接、駐車場が見えな いようにします。

### 駐車場を緑化・ 修景する





生け垣や塀、柵等を設け、車が見通せないようにします。



大規模な駐車場は、高低差を利用するなどして複数の小規模な駐車場に分散します。



### 〈駐車場の修景に用いる樹種のいろいろ〉

- ①ヘデラ類、コトネアスター、地被類、②潅木類、③生垣用樹
- ④高木類-常緑樹:周辺の状況により、緑量を確保したい場合、採用します。
- 注) 高木類は、地被類や潅木類と併用するのが望ましいです。

### 〈樹木の選定〉

大気汚染に強い樹木の選定が望まれます。

### 駐車場の配置を工夫する

- 1階をセットバックさせ、駐車スペースにしている例。 床面をタイル張りにし、空車時の建物利用者や歩行者 からの景観に配慮しています。①(中部地区)
- ■建物の内部に駐車場を取り込んでいる例。②(中部地区)

### 駐車場を緑化修景する

- ●門と一体的にデザインされた駐輪場。足元に灌木を施すことで、潤いが生まれています。③ (常磐地区)
- ●駐輪場を目立たない奥まった一に取り込み、樹木を施して修景しています。④(中部地区)









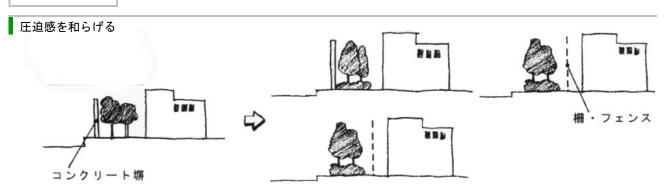


# 外構(3)

建物の圧迫感を和らげ、道路からの景観を向上させるよう、建物の周囲に樹木を植栽するなど工夫が必要です。

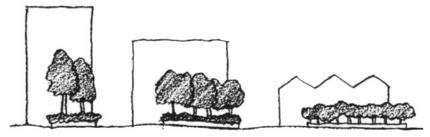
●建物周辺の緑化を充実させ、圧迫感や威圧感の軽減と通りからの景観の向上に努める。

### 修景方法

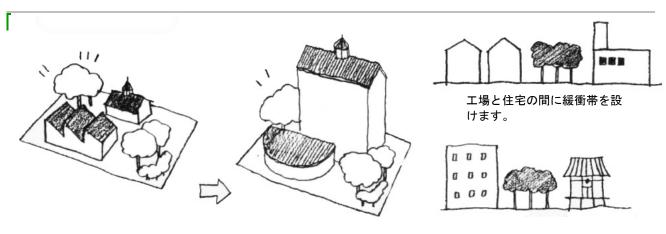


工場等の長大な柵やフェンスを樹木で隠します。

# 建物の大きさにあった樹木の選択



建物のスケールに合った樹種を選定します。



できるだけ既存樹木を残して、建物の再開発をします。

歴史的建造物との間にも緩衝帯 を設けます。



# 外構(4)

●緑化にあたっては、周囲の景観や地域の特性を考慮して樹種を選定する。

### 樹種とその特性

				陽樹陰樹			特性を活かす植栽方法						
	樹種	樹形概略図	樹高			樹・陰樹	煙害	仕切植栽	遮蔽植栽	火植栽 防音·防	緑陰植栽	被覆植栽	生け垣
	カシ		高	•	遅	0	0	0	0	0		0	0
	クスノキ		高	Δ	中	0		0	0	0			0
	マテバシイ	7	高	0	早	0	0	0	0	0			0
	サンゴジュ		中高	•	早	0	0	0	0	0		0	0
	キンモクセイ		小高	Δ	中	0	0	0	0			0	
	ヤマモモ	<b>T</b>	高	•	遅			0	0	0			0
	ウベメガシ		小高	Δ	遅		0	0	0	0	0	0	0
	サザンカ		小高	•	遅	0	0	0	0		0	0	0
常	ツゲ	<u> </u>	低	•	遅	0	0	0	0		0	0	0
緑広	クロガネモチ		高	Δ	遅	0	0	0		0		0	0
葉	ツバキ	<b>T</b>	中高	•	中	0	0	0	0			0	0
樹	アオキ		低	•	早	0	0	0	0			0	0
1-3	シャリンバイ		低	0	遅	0	0	0	0		0	0	0
	トベラ		小高	Δ	中	0	0	0	0			0	
	ネズミモチ		小高	•	中	0	0	0	0			0	0
	クチナシ		低	•	早	0	0	0	0			0	0
	サツキ		低	Δ	中	0	0				0	0	
	ツツジ		低	Δ	早		0	0			0	0	
	ヒイラギナンテン		低	•	早	0	0				0	0	0
	アベリア	7	低	0	早	0	0	0	0		0	0	
	オオシマザクラ		高	Δ	早	0		0		0			0
落	ソメイヨシノ		中高	Δ	早			0		0			0
葉広	ヤマモミジ		高	0	早		0	0		0			
落葉広葉樹	ケヤキ		高	0	早			0		0			0
	カイズカイブキ(常葉)	1	中高	Δ	中	0	0	0	0			0	
針葉樹	イチョウ(落葉)		高	0	中	0	0	0		0			0
	メタセコイヤ(落葉)		高	0	早			0	0	0			

- 注)・樹高:自然に生育している木の高さを「高」、「中高」、「小高」、「低」の4つに分ける。
  ・陽樹:「○」。陽当たりの良い場所で育つ。
  陰樹:「●」。陽当たりの良くない場所でも育つ。「△」はその中間。
  ・仕切植栽:施設の外周や内部仕切りとして仕立てる生垣・縁取り等の植栽に適する。
  ・遮蔽植栽:構造物、工作物を遮蔽したり、外部から内部又は施設内の構造物が相互に見透かせないよう視線、視界を遮断する植栽に適する。
  - ・防音・防火植栽:好ましくない音を物理的に遮断又は心理的に緩和する植栽、及び火災の延焼阻止・遅延効果を目的として植栽に適する。 ・緑陰植栽:樹冠によって日射を遮り、厚さをしのぐ憩いの場を提供することを目的とした植栽に適する。 ・被覆植栽:防塵・凍上・侵食等を防止する目的で行う植栽に適する。



〈市の樹木、花〉

クスノキ、サルビア

### 〈狭いスペースでの緑化〉

敷地に余裕がない場合、次のような方法で緑化することも考えられます。

・壁面緑化 ・屋上緑化 ・ベランダ緑化



### 圧迫感を和らげる

●建物をセットバックさせ、灌木や高木、花壇等をしつ らえることで、圧迫感を和らげるとともに、豊かなオ ープンスペースを形成しています。①(中部地区)

### 建物の大きさにあった樹木の選択

●塀の前後に緑を配置して、道行く人に緑豊かな景観を 提供しています。②(日永地区)

### 既存樹木を活用する

●多様な樹種を植栽し、自然の生態系に近づける工夫を しています。③ (日永地区)

### きめ細かな管理

●歩道に花壇を植え、色とりどりの草花を植えた例。周辺住民の方々が管理しています。④(橋北地区)









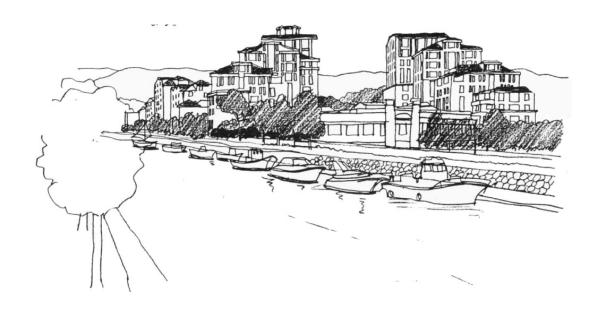


# 外構(5)

●海や河川などに面する場所では、海、河川側へのオープンスペースの確保と緑化、海や河川からの眺望に配慮する。

## 修景方法

### 海や河川からの眺望に配慮する



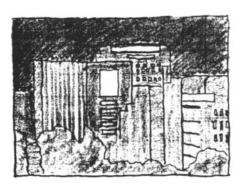


# 夜間の景観

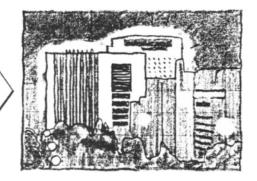
●夜景の演出に役立つものについては、ライトアップや効果的な照明を行い、夜の景観やにぎ わいの演出に配慮する。

### 修景方法

### 夜の景観やにぎわいに配慮する



夜、店が閉まると商店街も寂しくなり、 人通りもなくなってきます。



ライトアップで建物が浮かび上がり、 にぎわいが生まれてきます。

### 夜のにぎわいに配慮する

●登録文化財である歴史的建造物をライトアップして、夜の公園を演出しています。①(中部地区)





### 第3章 工作物に関する景観形成の基準



# 共通事項

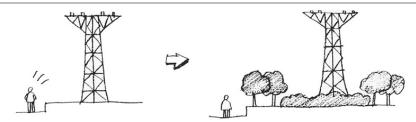
### ※建築物に関する景観形成の基準を参照

鉄塔や貯水槽、タンクなどの工作物は、周囲の景観との調和に配慮することが必要です。

- ●周囲の景観との調和に配慮し、威圧感、突出感、違和感を少なくするような配置や形態、意匠、 色彩(四日市市景観計画9ページ「色彩に関する基準事項」参照)等とする。
- ●道路との境界線からできる限り後退させた配置とし、周辺をできる限り緑化する。
- ●高層又は長大な壁面となる場合には、壁面の分節化(素材や形態の分割)などにより、圧迫感や威圧感を軽減する。
- ●優れた景観の眺望点となる場所の周辺では、その眺望を妨げない形態に努めるとする。
- ●交差点やアイストップとなる場所では、まちのシンボル、ランドマークの演出に努める。
- ●海や河川などに面する場所では、水辺空間との一体感を持たせるようにし、海、河川側へのオープンスペースの確保と緑化、海や河川からの眺望に配慮する。
- ●夜景の演出に役立つものについては、ライトアップや効果的な照明を行い、夜の景観やにぎわいの演出に配慮する。

### 修景方法

圧迫感を和ら げる



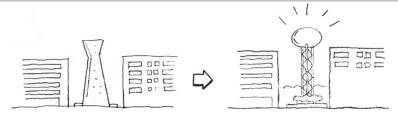
道路からセットバックさせ、足下や周辺を緑化することで、圧迫感を和らげます。

変化に富んだ意 匠・形態にする



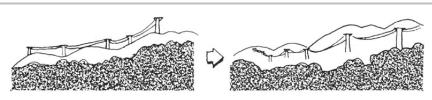
壁面にデザインを施すなどして、親しみの持てるものにします。

表情豊かなデザ インにする



周囲からの眺望に配慮した表情豊かなデザインにします。

周囲の自然と調 和させる



鉄塔はできるだけ、山のスカイラインを乱さないように、山の麓に設置します。



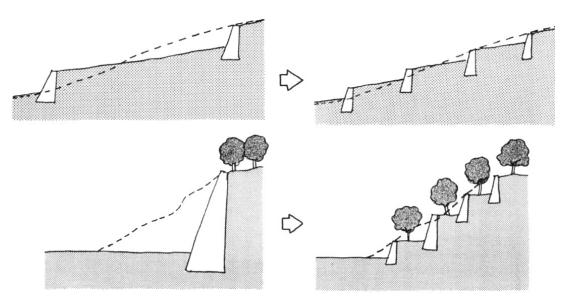
# 擁壁·法面

擁壁や法面は、長大で圧迫感を与える面をつくりやすく、周囲からも目立ちます。そこで、規模を抑えたり、緑化するなど周辺の景観との一体感を確保することが必要です。

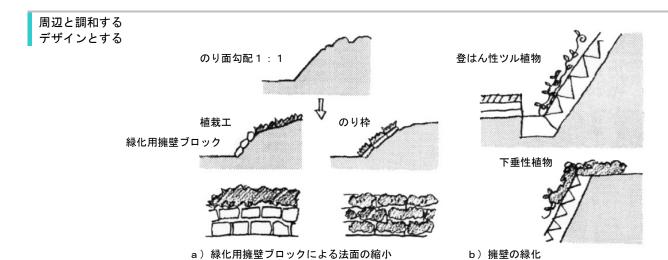
- ●できる限り規模を抑え、緩やかな勾配とする。
- ●周囲と調和した形態、材料を採用し、樹木や花等により修景する。

### 修景方法

### 規模を抑える



できるだけ、元の地形を生かし、長大な擁壁が生じないようにします。



擁壁の壁面は、石積みにしたり、緑化するなどして、圧迫感を和らげます。

### 規模を抑える

●擁壁の規模を抑え、植栽を施すことで、圧迫感を和らげています。また、リブをつけることにより単調な法面にアクセントを与えています。①(常磐地区)

### 周辺と調和するデザインと緑化

- ●法面工夫に加え、ガードレールを薄茶色にして、周辺環境に配慮しています。②(日永地区)
- ●富田山城線沿いに隣接する擁壁。樹木の生えた法面を残したり、階段状にして植栽を施すことで車の運転手にも潤いを与えます。③④(大矢知地区)











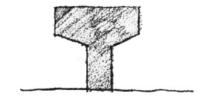
# 高架道路 · 高架鉄道等

高架道路等は、周囲に圧迫感を与えないよう側面の高さを抑えたり、形状に工夫するなどの配慮が必要です。また、都市部では高架下の有効利用も課題となる場合があります。

- ●軽快で落ち着いた印象を与える形態・意匠とする。
- ●高架下では、魅力的な空間となるように用途やデザインを工夫する。

### 修景方法

### 圧迫感を和らげる



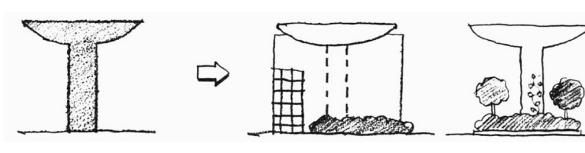






側面の高さを抑えるとともに、側面の一部に曲面形状を取り入れることで、圧迫感を和らげ、柔らかな印象を与えます。

### 高架下をうまく 使う



高架下は建物や公園をつくるなど、有効に活用しましょう。

### 連続性を確保する



同じ形状、素材の橋脚を整然と配置させることで、連続感が生まれます。



橋脚にリブと丸みをつけて、圧迫感を和らげていま す。



### 〈高架下の植物の種類〉

- ・橋脚にはツタ類を這わせます。
- ・高架下にはカイヅカイブキ、ツツジなどの中木・潅木を密植させると潤いが生まれます。

### 〈修景材料・色彩〉

- ・重量が軽く、耐候性に優れたアルミパネル等を用いるとデザインがすっきりします。
- ・遮音壁や橋桁は、汚れが目立ち難く、軽量感を与える色彩にします。
- ・橋脚にはモザイクタイルやレリーフによって装飾し、威圧感を抑えます。

#### 圧迫感を和らげる

●橋脚に丸みとリブをつけ、高架下を緑化して圧迫感を 和らげています①(川越町)

### 高架下をうまく使う

■高架下に建物を建て、有効利用している例。②(中部地区)





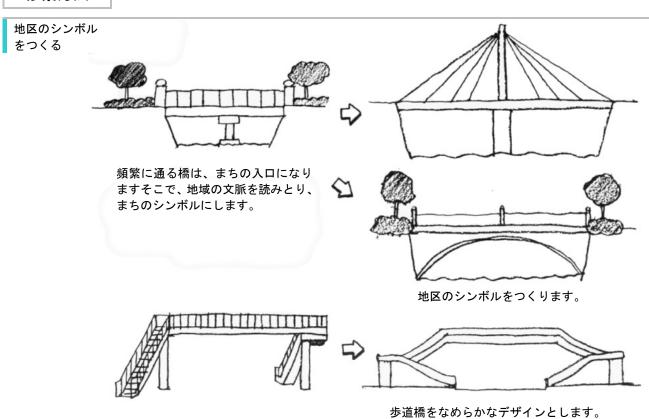


# 橋梁等

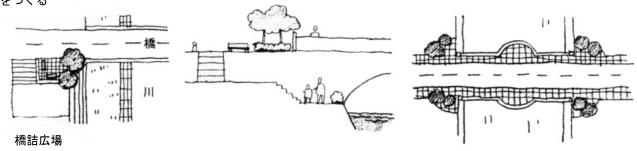
橋梁は、地区のシンボルとなる場合があります。周囲からの見え方に配慮したデザインを工夫し、 また、橋詰広場を設けるなど、住民に親しまれる空間とすることが重要です。

●周囲から眺めたときと橋を渡るときの景観の両方に配慮したデザインとする。

### 修景方法





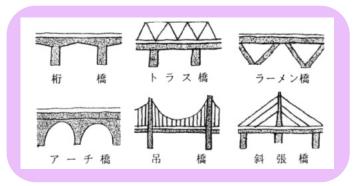


ベンチや緑のある橋詰広場を設け、地域住民の 憩いの場をつくります。



### 〈橋梁のいろいろ〉

・橋梁には、概ね以下の6タイプがあります。



### 地区のシンボルをつくる

- ●地域のランドマークとして人々に親しまれているトラス構造の橋。①(富洲原地区)
- ●旧四日市港のにぎわいを彷彿させるデザインで新しく 架け替えられました。②(中部地区)
- ●今ではめずらしい跳ね上げ橋は地域のシンボルになっています。③(中部地区)
- ●背後の山並みに調和した茶色のなだらかな歩道橋。④ (477 号バイパス沿い)

### 快適な橋詰広場をつくる

●歩道にレリーフを施したり、花壇等を設置し、親しみの持てる橋になっています。⑤(橋北地区)









解説— 35





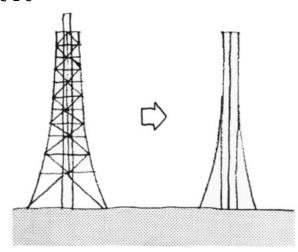
# 煙突等

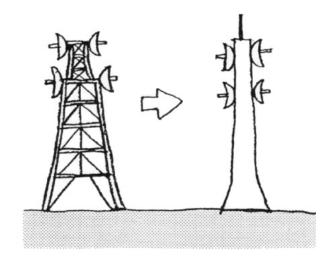
煙突等は、柱状や塔状の無機的な形態になりがちで、周囲からも目立ちます。そこで、形態や色彩などに配慮し、周辺との調和を図ることが必要です。

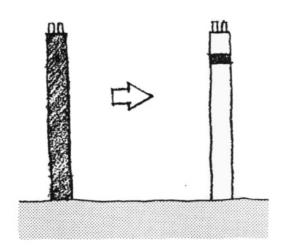
●高い煙突等は、広い範囲からの見え方に配慮して、周囲になじむ形態・意匠とする。

### 修景方法

### 周辺環境に調和 させる







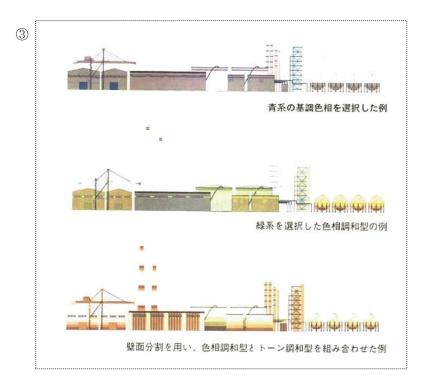
高さや色彩等に配慮して、できるだけ すっきりした印象を与え、周辺環境と の調和を図ることが必要です。

### 周辺環境に調和させる

- ■スリムな形態にして、幹線道路沿いの景観に配慮した 送電塔。①(桜地区)
- ●大きな構造の煙突も空に溶け込む色彩を施し、アクセントカラーをポイント的に入れることで圧迫感を和らげます。②(川越町)
- ●「川崎市臨海部色彩ガイドライン」より。③









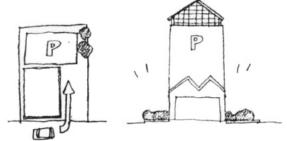
# 立体駐車場

立体駐車場は、輪郭や形態が単調であり、違和感を与えがちです。そこで、屋根形状や壁面に工夫を施すなど周辺景観への配慮が必要です。

●駐車場の出入口は、通りの連続性、人の動線との共存に配慮して配置する。

### 修景方法

### 足元・出入口を 修景する

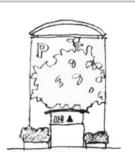


出入口付近に、植栽を施したり、庇を設けるな どして、親しみのある空間をつくります。

# 圧迫感を和らげる

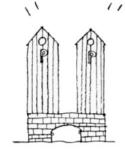


開口部と設けたり、透明 感のある素材を用いることで、軽快さを与えます。



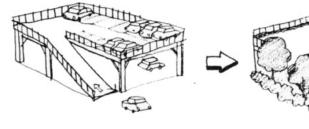
壁面を緑化します。

### 屋根形状を工夫 する

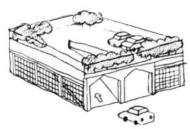


屋根形状を工夫したり、 分棟化を図り、街並みに 変化を与えます。

### 自走式駐車場を 修景する



足元や2階塀部分を緑化し、車を 隠します。

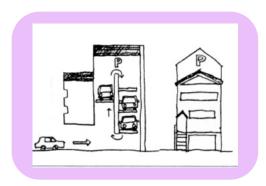


駐車場をメッシュの壁で覆い、車 を隠します。



### 〈表情豊かな街並みの形成〉

立体駐車場を通りから後退させ、前面部分を建物にして、2階以上をギャラリー、会議室事務所等として利用することで、街並みの連続性を確保します。



### 足元・出入口を修景する

■マンションの立体駐車場の出入口に植栽を施し、高い無窓の外壁から受ける圧迫感を和らげています。①(中部地区)

### 圧迫感を和らげる

■屋根形状に曲面を使い、スカイラインに変化を与えています。②(中部地区)

### 自走式駐車場を修景する

●閉鎖的になりがちな壁面に開口部を設け、凹凸を付けることで、変化のあるファサードにした例。③ (中部地区)









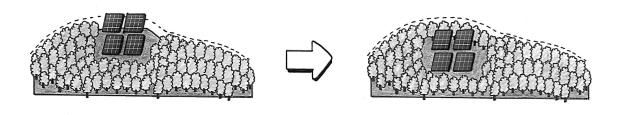
# 太陽光発電施設

太陽光発電施設は、従来の建築物や工作物とは形態意匠等が異なることやメガソーラー化に伴う面的な広がりから異質な存在として、周辺景観への影響が懸念されるところです。そこで、周囲の地形との調和や周辺の景観との一体感を確保することが必要です。

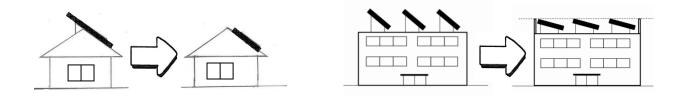
- ●丘陵部に設置する場合はそのシルエットを乱さないよう配置する。
- ●屋根に設置する場合は、突き出しや高さを抑えるなど目立たないようなデザインとする。
- ■太陽電池モジュールの色彩は黒、濃紺を基本とし光沢や反射が少なく模様が目立たないものとし、パワーコンディショナー、分電盤、フェンス等はダークブラウンを基本とし、背景の状況に応じた目立たない色彩を選択する。

### 修景方法

丘陵部などのシルエットを乱さないよう配置する



### 目立たないようなデザイン



陸屋根に設置する場合は、パネルの最上部はできるだけ低くし、目隠し等により目立たないようにします。

### 目立たないような色彩



【太陽電池モジュール】 黒・濃紺を基本とします。



【フェンス等】 ダークブラウンを基本とします。

### 色彩に関する基準(建築物及び工作物共通)

### 第4章 色彩に関する基準 (建築物及び工作物共通)

# テーマ 1

# 色彩(1)

建物の色彩は、地域のイメージを形作る重要な要素の一つです。そこで、基調となる色は、地域性や周囲の自然環境、街並みの色調に配慮することが必要です。

●基調となる色は、周囲の自然やまちなみの色調と調和したものとし、色彩の対比及び調和の効果に十分配慮する。

色彩に関する基準【建築物及び工作物の外観に使用する色彩の制限】

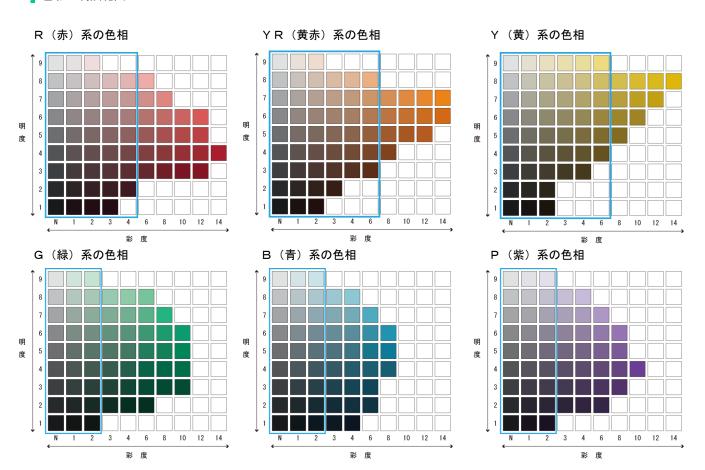
使用する色相	彩度
Rの場合	4以下とする。
YR及びYの場合	6以下とする。
上記以外(GY、G、BG、B、PB、P、RP)の場合	2以下とする。

注)マンセル表色法による彩度

- ※次の場合はこの限りではありません。
  - ・着色していない素材の色彩、工作物で法令上の制限がある場合
  - ・各表面積の20%までの範囲で使用されるアクセントカラーの場合

### 修景方法

### 色彩の制限範囲





# 色彩(2)

- ①建築物や工作物の色彩は、地域の景観を構成する重要な要素です。色彩は、周辺の景観との関係 において調和がとれたときに、初めて美しく見えます。
- ②建築物等の壁面・外観の色彩構成には、適度な変化と統一感を与えるために、大きな面積に使われるベースカラーと線や点として使われるアクセントカラーがあります。アクセントカラーは小面積に用いて個性を演出します。ベースカラーに対して、コントラストを持ち、全体を引き締めます。しかし、調和しない色彩をアクセントカラーとして使用すると、周辺景観との調和を損なうばかりでなく、建築物等の単体における色彩の調和も損なうことになりかねません。

### 周辺との調和

- ●企業のイメージカラーの緑色と、その補色である赤色を窓枠に用い、鮮やかで、さわやかなイメージを創り出しています。①(中部地区)
- ●外壁を彩度の低い同系色のツートンカラーで飾り、軽快さを演出しています。また、隣の建物と一色だけ色を同じにし、統一感を出しています。②(中部地区)

### アクセントカラー等の活用

- ●アパートの外壁とベランダの一部に緑、黄などのアクセントカラーを施している例。③ (県地区)
- ●低彩度の黄色の外壁にパラペットや帯を白くすることで引き締まって見えます。④(中部地区)
- ■マンションの外壁の大規模修繕に際して、バルコニーの擁壁にパステルカラーを施すことで、アクセントと軽快さを与えています。⑤(常磐地区)
- ■重厚な色でありながら、リズム感のある外壁の塗り分けによって軽快さを生み出しています。⑥(中部地区)













6 5

### その他行為に関する景観形成の基準

### 第5章 その他行為に関する景観形成の基準



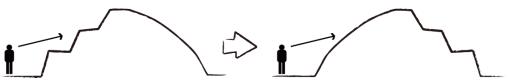
# 土石の採取又は鉱物の堀採

周囲の景観に調和したものとなるよう、次に定める景観形成の基準に適合する必要があります。

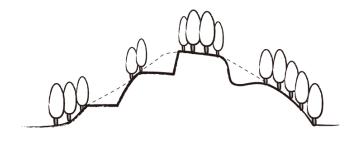
- ①採取地が周囲から目立たないよう、採取位置及び方法を工夫するとともに、敷地周辺の既存 樹木の保全に努める。
- ②採取後は、既存又は周囲の植生と調和した緑化を行い、自然環境及び景観の復元に努める。
- ③のり面は、できる限りゆるやかな勾配とし、緑化や素材の工夫などにより、周囲の景観になじむようにする。

### 修景方法

採取位置、方法を 工夫する

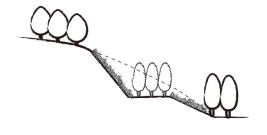


できるだけ道路などの公共の場所から見えない位置で採取や掘採を行う。



採取や掘採場所を分散して、 地形の改変を少なくし、既存 樹林をできるだけ残す。

生育環境を守り、採取後は緑化する



樹木等の生育環境を壊さないように良好な既存樹林や表土を極力残し、採取や掘採後は、風土にあった植生や景観の復元を行う。

のり面を周囲に 馴染ませる

※ 第3章のテーマ2「擁壁・のり面」(30頁)を参照してください。



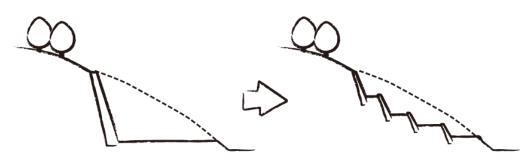
# 開発行為・土地の形質の変更

届出対象となる行為は、周囲の景観に調和したものとなるよう、次に定める景観形成の基準に適合する必要があります。

- ①既存の地形・樹木など自然条件を活かし、長大なのり面又は擁壁が生じない計画とする。
- ②行為後は、既存又は周囲の植生と調和した緑化を行い、自然環境及び景観の復元に努める。
- ③のり面は、できる限りゆるやかな勾配とし、緑化や素材の工夫などにより、周囲の景観にな じむようにする。

### 修景方法

既存の地形、樹木 等を活かす



現状の地形をできるだけ活かして、切り土や盛り土を少なくする。

のり面を周囲に 馴染ませる

※ 第3章のテーマ2「擁壁・のり面」(30頁)を参照してください。



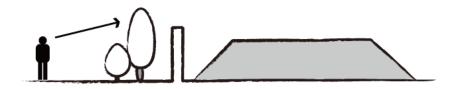
# 屋外における土石、廃棄物、再生資源その他の物件の堆積

届出対象となる行為は、周囲の景観に調和したものとなるよう、次に定める景観形成の基準に適合する必要があります。

- ①道路、公園等の公共の場所から目立たないように、配置を工夫し、周囲の景観との調和に配慮した植栽及び塀等を設ける。塀や擁壁は、植栽より敷地内側に設けるとともに、色彩、素材、耐久性や開放性等に配慮する。
- ②積み上げに際しては、高さをできる限り低くするとともに、外から見られることを意識して、 整然とした集積又は貯蔵とする。

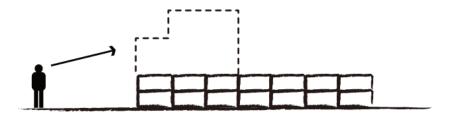
### 修景方法

### 圧迫感を和らげる



植栽や圧迫感の少ない塀などで遮蔽する。

### 圧迫感を和らげる



積み上げる高さはできるだけ抑え、整然と集積、貯蔵する。